



Grow thru knowledge

GXquery 4.0

セットアップガイド

2014 年 9 月



GeneXus Japan Inc.

Copyright © 2014 GeneXus Japan Inc. All rights reserved.

本書には正確な情報を記載するように努めました。ただし、誤植や制作上の誤記がないことを保証するものではありません。なお、本書に記載されている画面はソフトウェアの更新などにより予告なく変更される場合があります。ご了承ください。

本書に記載のその他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。GeneXus Japan Inc. は他社製品の性能または使用につきましては一切の責任を負いません。

ジェネクス・ジャパン株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田 2 丁目 27 番 3 号

電話番号 : 03-6303-9381 FAX : 03-6303-9980

<http://www.genexus.jp>

目次

| | |
|---|----|
| はじめに..... | 4 |
| システム要件 | 5 |
| GXquery 4.0 | 5 |
| サーバー側 | 5 |
| クライアント側 | 5 |
| その他の要件 (DBMS) | 6 |
| GXquery Add-in | 6 |
| ユーザー登録 | 7 |
| アプリケーションのセットアップ | 10 |
| GXquery のインストール | 11 |
| GXquery エクステンションの追加 | 15 |
| Microsoft Excel 用の Add-in のインストール | 19 |
| GXquery SD のインストール | 22 |
| ライセンスのインストール | 23 |
| ライセンス請求 | 23 |
| ライセンス登録 | 25 |
| ライセンスのアンインストール | 27 |
| ライセンスの再発行について | 29 |
| エビデンスファイルを提出できる場合 | 29 |
| エビデンスファイルを提出できない場合 | 30 |
| 緊急ライセンスについて | 31 |



はじめに

本書では、GXquery を使用するために必要なエクステンションおよび各アプリケーションのインストール、ライセンスの請求・取得およびアンインストール手順について説明しています。

GXquery をお使い頂く際には、ライセンス請求の前に注文書を弊社宛に郵送して頂く必要があります。弊社での注文書の確認前にライセンスの請求を行うと、ライセンスの発行が遅れる場合があります。なお、事前にユーザー登録された担当者以外のライセンスの請求は受け付けておりません。

GXquery のライセンスの転売は禁止されております。同一のお客様および組織変更などの場合を除き、ほかのお客様に変更／譲渡することはできません。ライセンスの請求・登録の際には必ず内容を確認し、ライセンスの取り扱いには十分に注意してください。

システム要件

このセクションでは、GXquery 4.0 および GXquery Add-in をインストールするためのシステム要件を記載します。

GXquery 4.0

サーバー側

- Windows Vista、Windows Server 2008 、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、または Windows Server 2012
- Internet Information Server 7.0 以上
- URL Rewrite Module for IIS
- Microsoft .NET Framework 3.5 sp1
- Microsoft SQL Server 2005 以上 (Express、Standard、その他任意のエディション)
- SQL データベースのユーザーは、管理者であるか、[sysadmin]プロパティが有効にされている必要があります。
- Microsoft Visual C++ 2008 Redistributable
- Windows Communication Foundation HTTP Activation および Windows Communication Foundation Non-HTTP Activation の有効化（「コントロールパネル」>「Windows の機能の有効化または無効化」）

クライアント側

- Internet Explorer 9.0 または 10 (Internet Explorer 11 には未解決の問題があります)
- Firefox 9.0 以上
- Chrome 16 以上
- Safari 5.1 以上



その他の要件 (DBMS)

いかなる場合でも、GXquery の¥Web¥bin ディレクトリに dll ドライバーをコピーする必要があります。ドライバーの入手方法については各 DBMS の Web サイトを参照してください。

- DB2 UDB では、IBM.Data.DB2.dll ファイルをコピーする必要があります。
- DB2 for iSeries では、IBM.Data.DB2.iSeries.dll ファイルをコピーする必要があります。
- Informix では、IBM.Data.Informix.dll ファイルをコピーする必要があります。
- MySQL では、MySQLDriverCS.dll ファイルをコピーする必要があります。

さらに、Informix、DB2 UDB、DB2 for iSeries、および Oracle の場合は、これらの DBMS に接続するために 32 ビットクライアントをインストールする必要があります。

GXquery Add-in

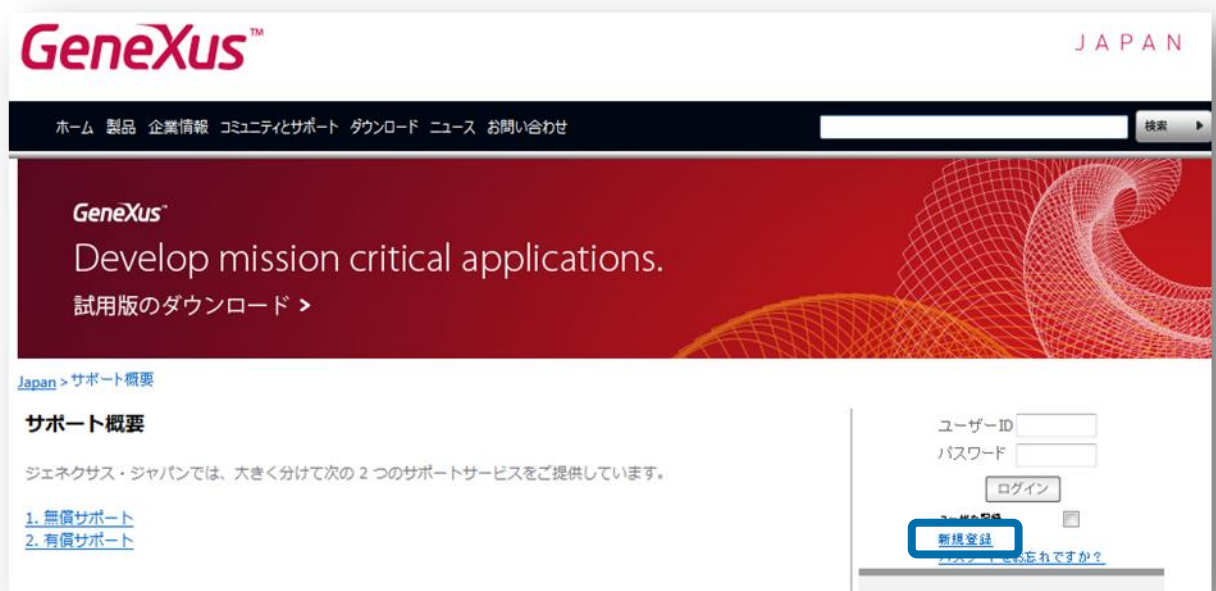
GXquery Add-in をインストールすると、GXquery で定義したクエリを Microsoft Excel で実行することができます。互換性のある Microsoft Excel のバージョンは次のとおりです。

Microsoft Office Excel 2007、2010、および 2013

ユーザー登録

GeneXus Japan の Web サイト内の「問題追跡システム」または「サポート」ページからユーザー登録を行います。ここで登録したユーザー名とパスワードは、「問題追跡システム」、「フォーラム」、技術者向けの文書、プラグイン、製品、およびアップデートなどをダウンロード可能な「Gxtechnical」を利用する際に使用します。

1. GeneXus Japan の Web サイト内にある「問題追跡システム」または「サポート概要」ページにアクセスします：
<http://www.genexus.com/community-and-support-jp/support-overview?ja>
2. 画面右側にある「新規登録」をクリックします。



参考：既に「GXtechnical」(www.gxtechnical.com) でユーザーアカウントを登録している場合、ユーザー登録は不要です。ライセンス請求をする際には、「GXtechnical」のユーザー名とパスワードを使用してください。

3. 次のような「**ユーザー登録**」画面が表示されます。「*」の付いている項目は必須です。それぞれの入力フィールドに情報を入力します。

Japan > ユーザー登録

GeneXus コミュニティへ入会

名* 半角英数文字を指定してください

姓* 半角英数文字を指定してください


国*
URUGUAY

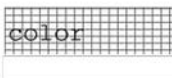
電子メール*

ユーザー名* 半角英数文字を指定してください

パスワード* 半角英数文字を指定してください

パスワードの再入力*





☒ プライバシーに同意します [ご利用条件](#)

アカウント作成

重要：「名」、「姓」、「ユーザー名」および「パスワード」は、必ず半角英数文字で指定してください。

4. すべての項目の入力が完了したら、「**アカウント作成**」ボタンをクリックします。
5. 下図のような画面が表示されたら、「**完了**」ボタンをクリックします。

Japan > ユーザー登録

私たちのコミュニティの一員になるまであと一歩です。

登録の完了を知らせるメールが [REDACTED] co.jp に送信されました。
続けるには、メールアドレスを確認してください。

完了

間もなく、下図のように指定したメールアドレスに「GeneXus コミュニティ新規アカウント作成確認」という件名のメールが届きます。



6. 「GeneXus コミュニティ新規アカウント作成確認」を開いて、メールの内容を確認します。

下図のようにメールに記載されているリンクテキストをクリックします。



7. 既定のブラウザが開き、「新規アカウントの確認」画面が表示されます。内容を確認します。
画面上のリンクテキストをクリックすると、GXtechnical のページが表示されます。



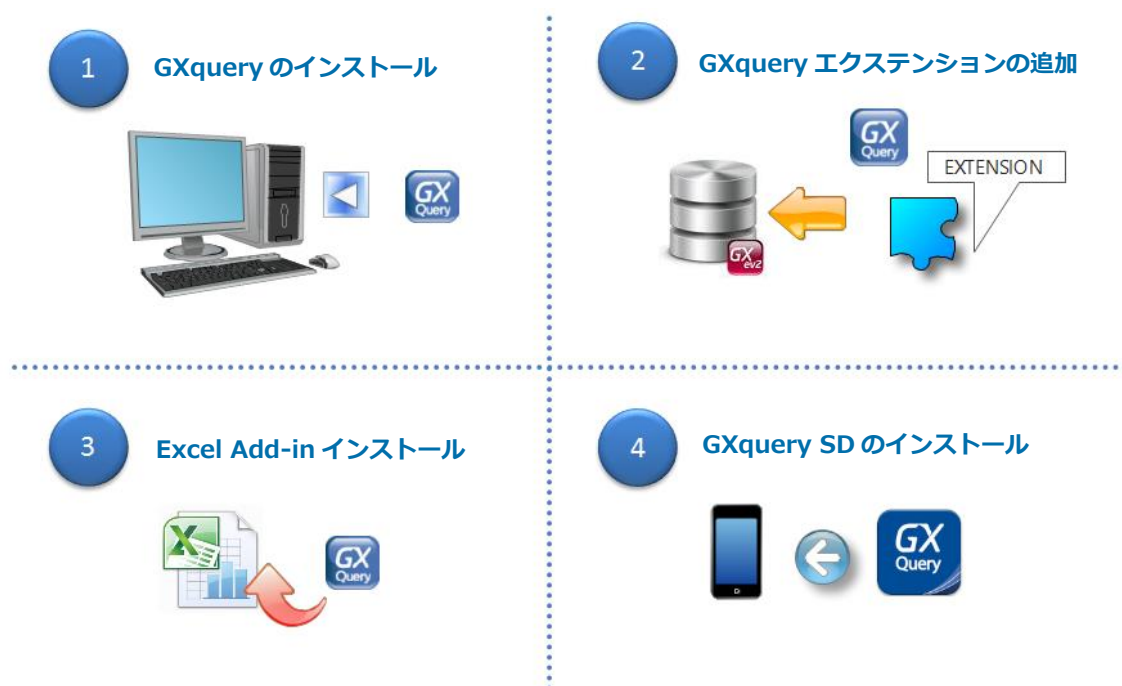
これでユーザー登録は完了です。

参考：「GXtechnical」(www.gxtechnical.com) でユーザーアカウントを登録する場合、英文のユーザー登録確認メールが届きます。

アプリケーションのセットアップ

このセクションでは、GXquery および関連アプリケーションのインストール方法について説明します。

GXquery アプリケーションは、GeneXus のナレッジベースをメタデータとして使用し、エンドユーザーが独自のクエリを作成するためのツールです。このメタデータを作成するために **GXquery エクステンション** を使用します。また、GXquery は GeneXus のナレッジベースが保存されているのとは別のマシンまたはサーバーにインストールすることもできます。このほか、**Microsoft Excel 用の Add-in** をインストールすることで、GXquery に接続し、Excel 上にピボットテーブルやグラフを作成することができます。スマートフォンやタブレットから **iOS または Android 用の GXquery SD アプリケーション** を使ってメタデータにアクセスし、クエリを実行することもできます。

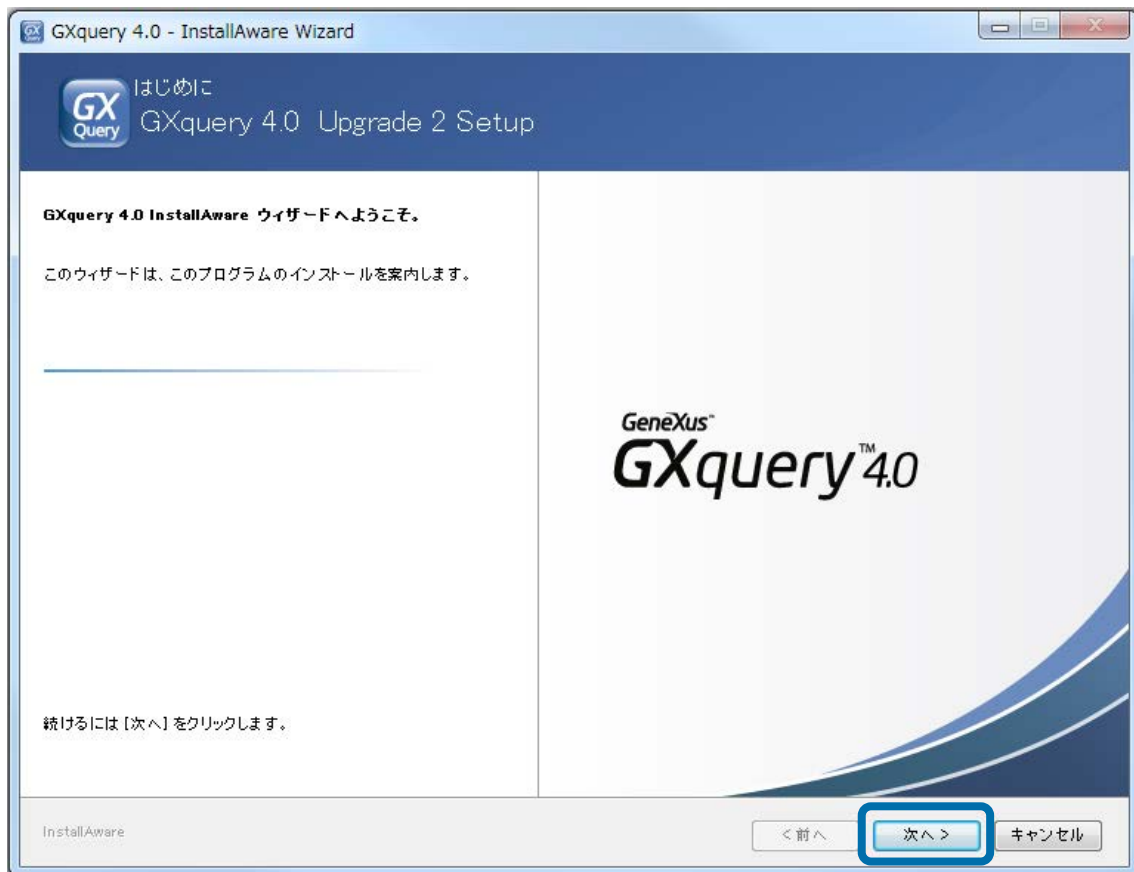


GXquery のインストール

はじめに GXquery アプリケーションをインストールします。前述の「[システム要件](#)」を参照してからインストールを実行してください。

1. GeneXus Japan の Web サイト (<http://www.genexus.com/downloads/products-jp?ja>) から「GXquery」をダウンロードします。
2. 「gxquery.exe」といった名前のセットアップファイルを起動します (Windows Vista、Windows 7 および 8 をお使いの場合は右クリックして「**管理者として実行**」を選択します)。

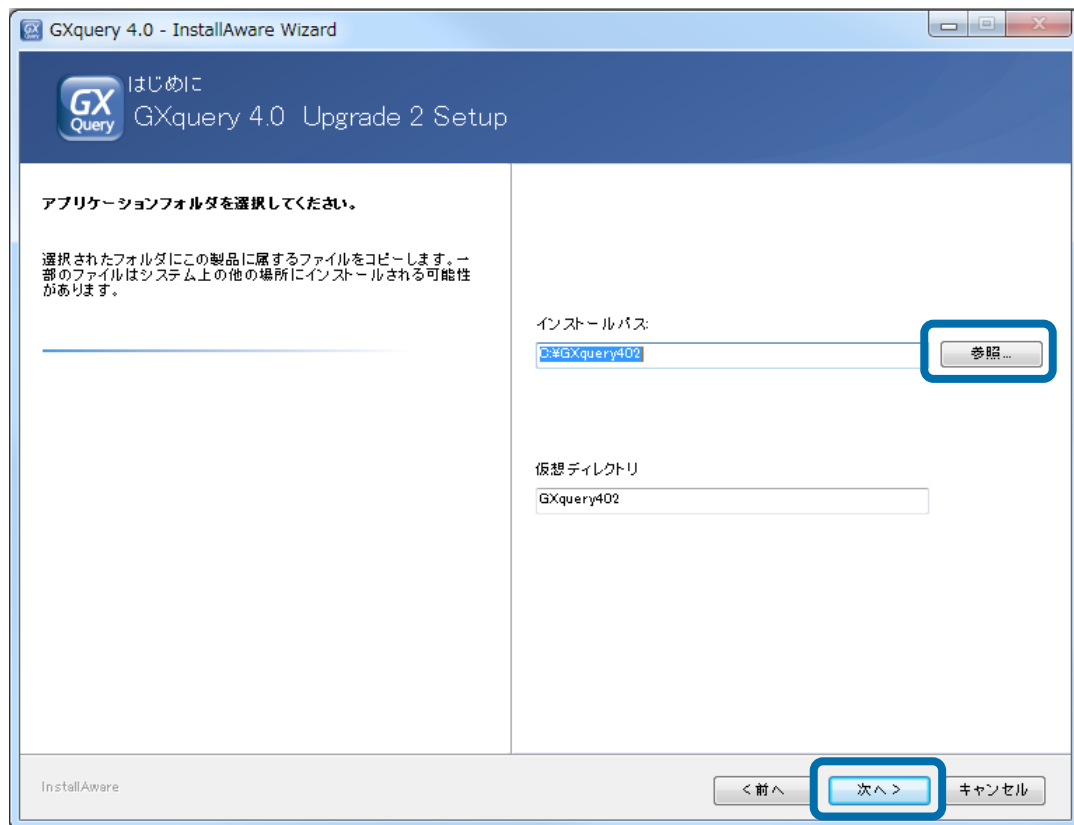
次のような画面が表示されます。



3. 「次へ」をクリックします。ライセンス使用権許諾が表示されます。
4. ライセンス使用権許諾の内容を一読し、同意する場合は、画面右下部にある「**使用許諾書の条項に同意します**」のチェックボックスを選択します。

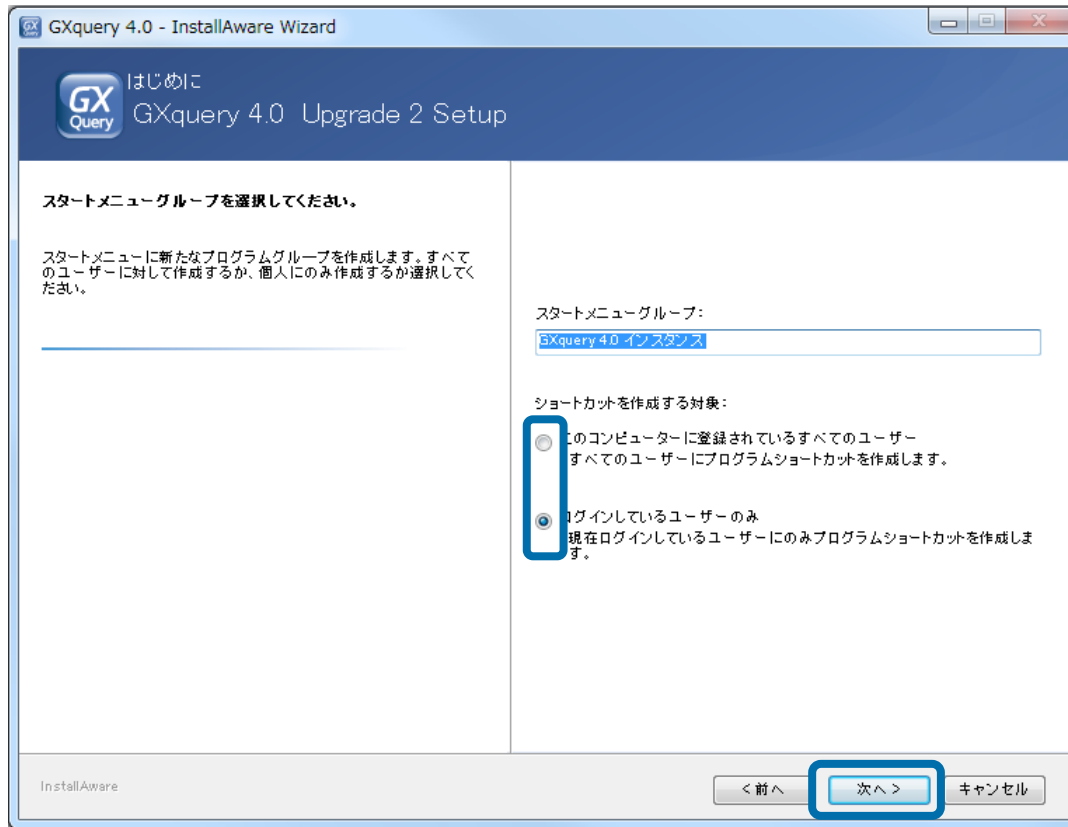
使用許諾に同意すると、「次へ」のボタンが選択可能になります。

5. 「次へ」をクリックします。情報登録画面が表示されます。
6. 「ユーザー名」フィールドに管理者の名前を入力し、「会社名」フィールドに会社名を入力します。
7. 「次へ」をクリックします。次のようなインストール先の選択画面が表示されます。



8. 「インストールパス」セクションにインストールパスを指定します。右側にある「参照」ボタンをクリックして、任意の場所を指定することができます。

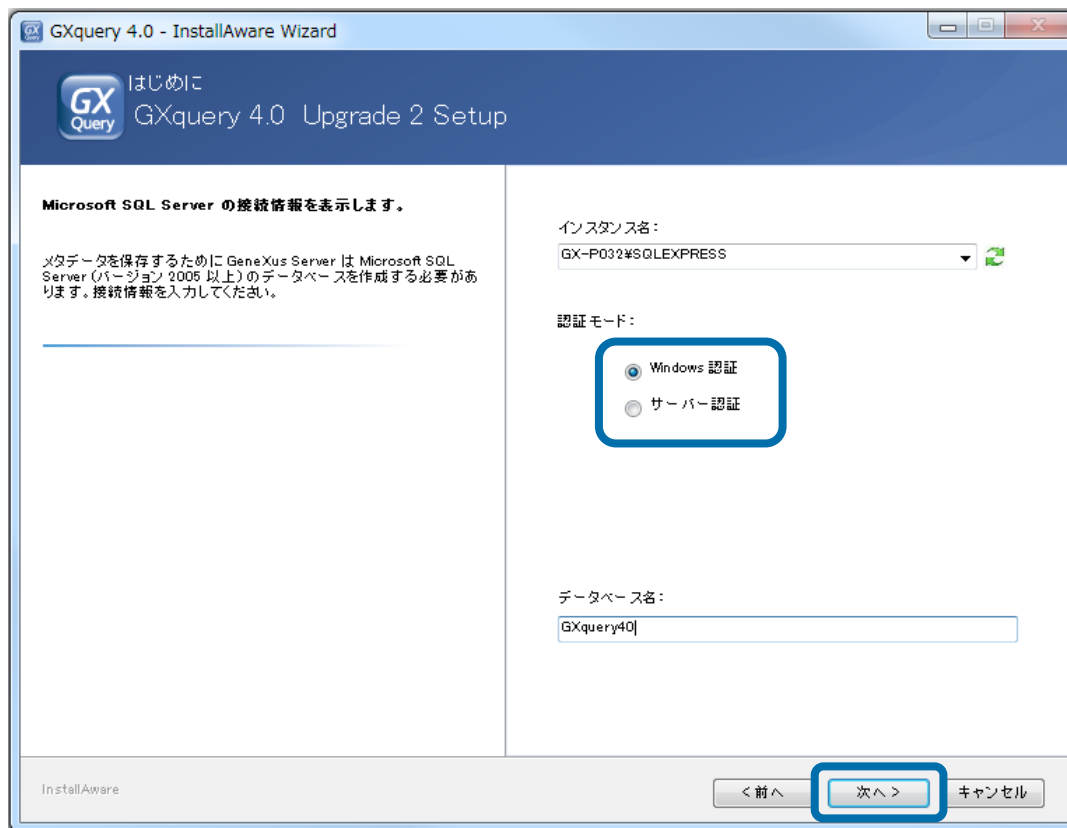
9. 「次へ」をクリックします。次のようなスタートメニューへの登録画面が表示されます。



10. 「スタートメニューグループ」フィールドにアプリケーション名を指定します(既定では「Gxquery 4.0 インスタンス」と表示されています)。ショートカットを作成する対象として以下のいずれかのオプションを選択します。

- 「コンピュータに登録されているすべてのユーザー」：すべてのユーザーにプログラムショートカットを作成します。
- 「ログインしているユーザーのみ」：現在ログインしているユーザーにのみプログラムショートカットを作成します。

11. 「次へ」をクリックします。次のような SQL Server の情報登録画面が表示されます。



12. インストールウィザードにより自動的に「インスタンス名」が検出されますが、複数ある場合には、任意のインスタンス名を選択します。
13. 「Windows 認証」または「サーバー認証」のいずれかのオプションを選択します。「サーバー認証」を選択すると、「ユーザー名」と「パスワード」の入力フィールドが表示されます。適切なユーザー名とパスワードを入力してください。
14. 「次へ」をクリックします。インストールウィザードにより、インストールに必要なアプリケーションがすべて揃っているかどうかを検証されます。
15. 準備が完了したという内容の画面が表示されたら「次へ」をクリックします。インストールの進捗状況を示すプログレスバーが表示されます。
16. セットアップの完了画面が表示されたら、「完了」をクリックします。続けてライセンス請求を実行する場合は、「GXquery 4.0 メインページを開く」のチェックボックスをクリックしてから、「完了」をクリックします。

これで GXquery のインストールは完了です。引き続きライセンスを請求する場合は、後述の「[ライセンス請求](#)」セクションを参照してください。

GXquery エクステンションの追加

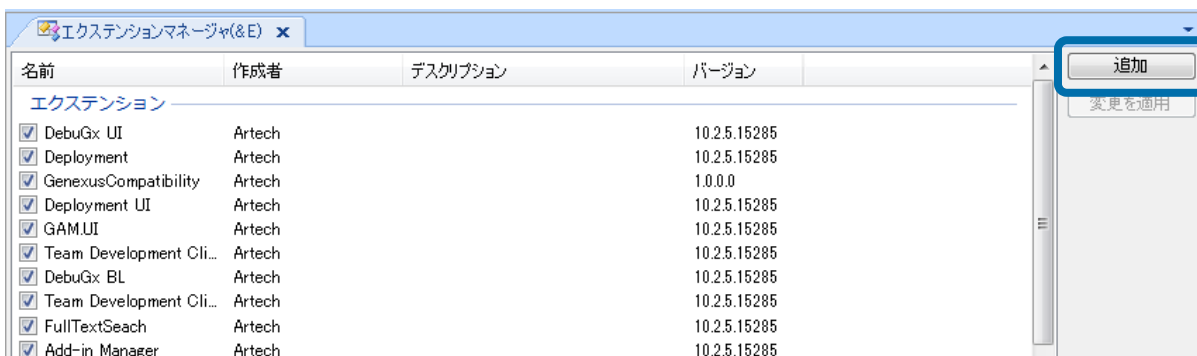
GXquery で使用する GeneXus ナレッジベースのメタデータを作成するためには、「GXquery エクステンション」を GeneXus にインストールする必要があります。

1. GeneXus Japan の Web サイト (<http://www.genexus.com/downloads/products-jp?ja>) から「GXquery」をダウンロードします(前のセクションでダウンロード済みの場合はこの手順は不要です)。
2. お使いの GeneXus のバージョンに対応する GXquery エクステンションのフォルダ内の.zip ファイルを用意します。

例：GeneXus X Ev2 をお使いの場合「GXquery_Extension_Ev2.zip」という名前の ZIP ファイルを取り込みます。

3. GeneXus を起動します。「ツール」メニューから「**エクステンションマネージャ**」を選択します。

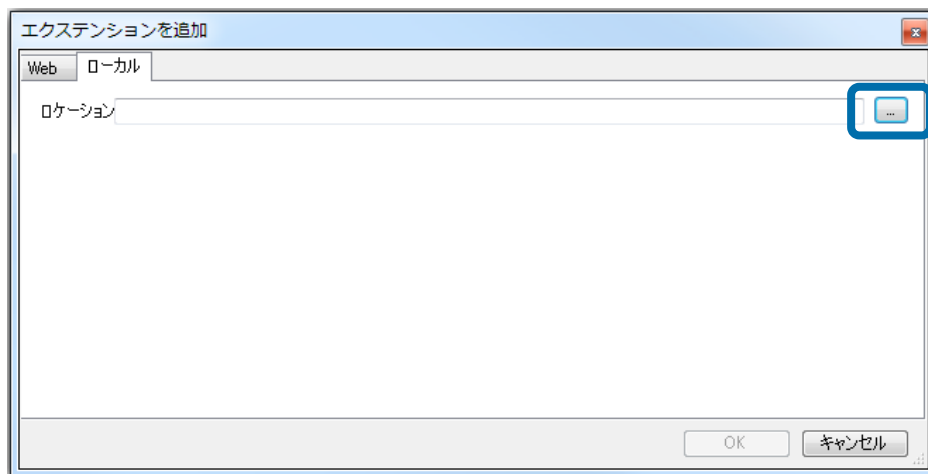
次のような画面が表示されます。



4. 右上の「**追加**」ボタンをクリックします。次の画面が表示されます。「**ローカル**」タブをクリックします。



5. 次のような画面が表示されます。「ロケーション」の右端にあるボタンを押して、手順2のZIPファイルを取り込みます。

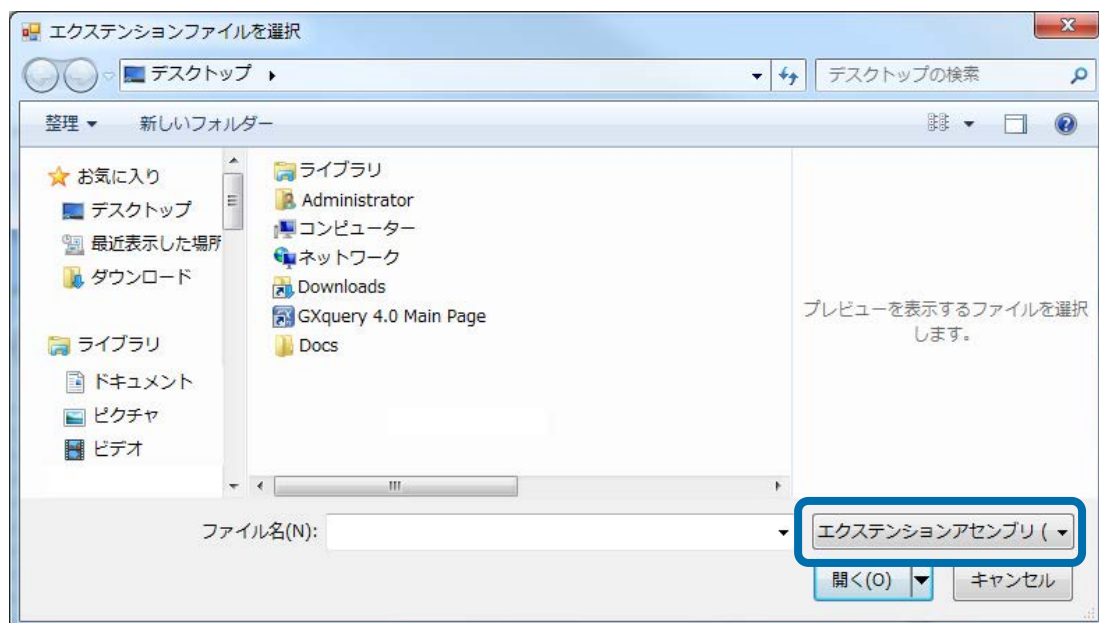


ZIP ファイル内には次の4つの.dllファイルが含まれています。

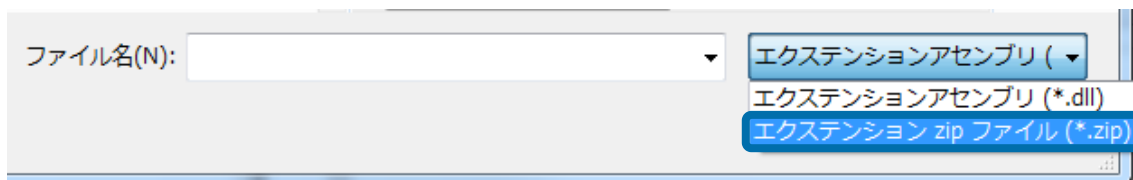
- Artech.GXquery.Common.XEvn.dll
- Artech.GXquery.Connector.XEvn.dll
- Artech.GXquery.Common.XEvn.resources.dll
- Artech.GXquery.Connector.XEvn.resources.dll

参考：上記の「n」の部分には GeneXus X Evolution のバージョン番号が表示されます。

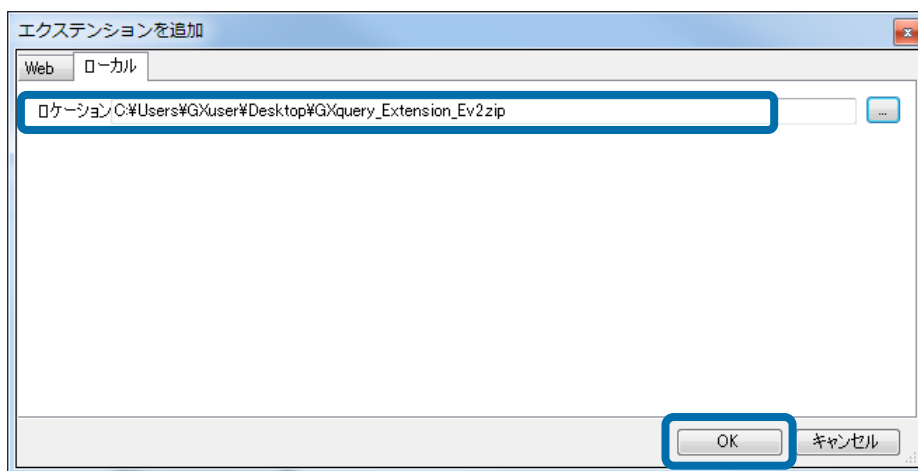
次のような「エクステンションファイルを選択」ダイアログが表示されます。



6. ウィンドウ右下のプルダウンメニューから「**エクステンション zip ファイル (*.zip)**」を選択してから、手順 2 の ZIP ファイルを選択し、「**開く**」をクリックします。



7. 手順 6 で選択したファイルのパスが次のように「**ロケーション**」フィールドに表示されます。



8. 内容を確認してから「**OK**」をクリックします。次のような確認画面が表示されたら「**はい**」をクリックします。

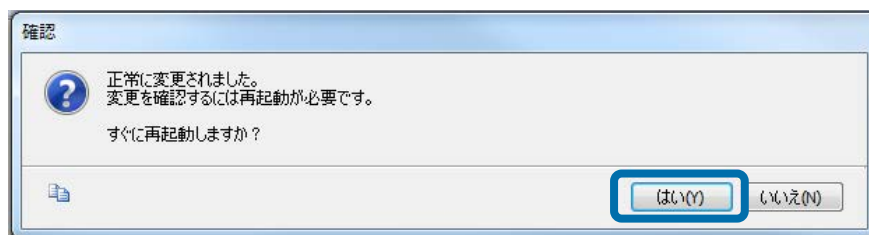


9. 次のように「**エクステンション**」のリストに「**GXquery**」が追加されます。先頭のチェックボックス

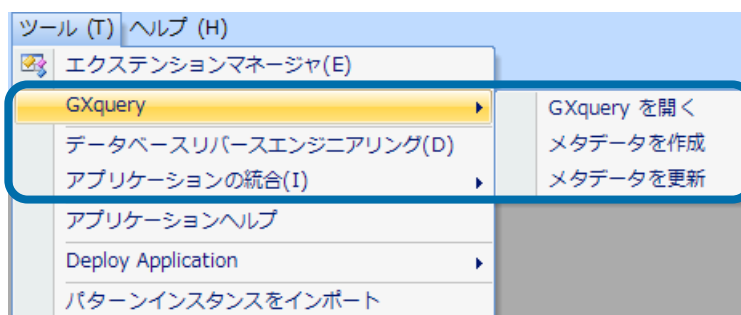


スを選択してから、右側の「**変更を適用**」ボタンをクリックします。

10. 次のような確認メッセージが表示されます。「**はい**」をクリックします（「はい」をクリックすると、GeneXus が自動的に再起動します）。



これで「GXquery エクステンション」の追加は完了です。GeneXus の「**ツール**」メニューに「**GXquery**」という新しいメニュー項目が追加されていることを確認できます。

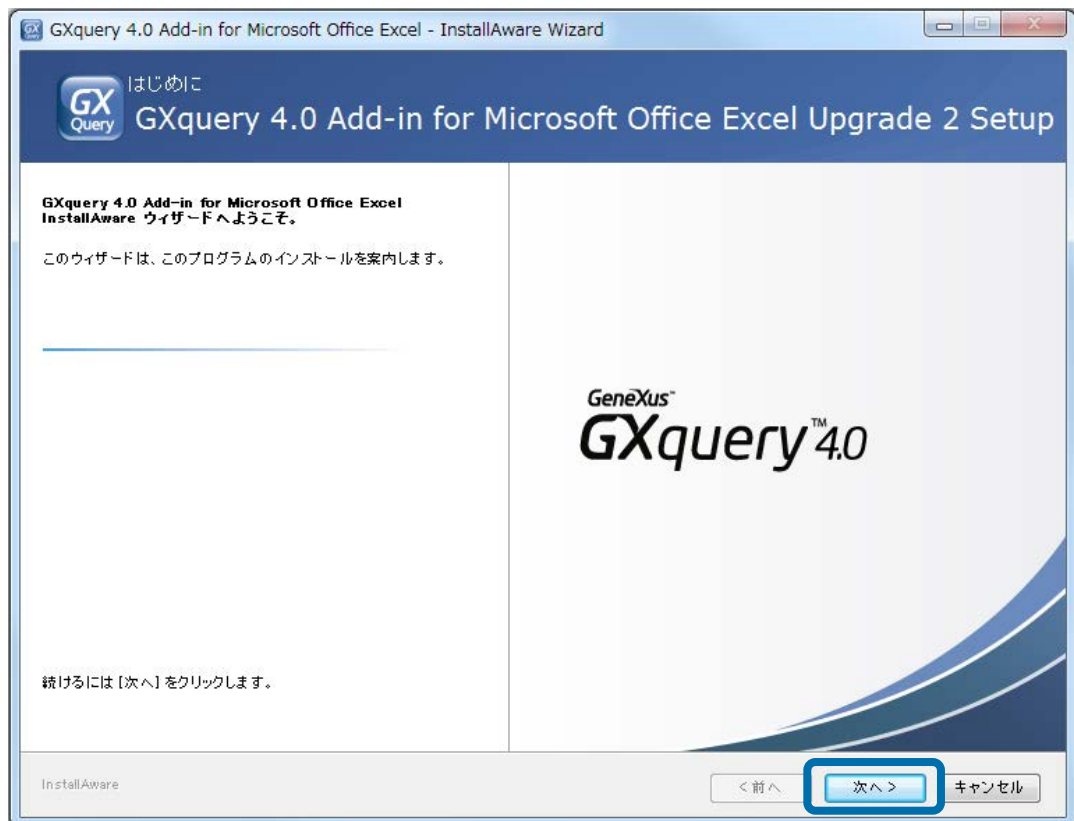


Microsoft Excel 用の Add-in のインストール

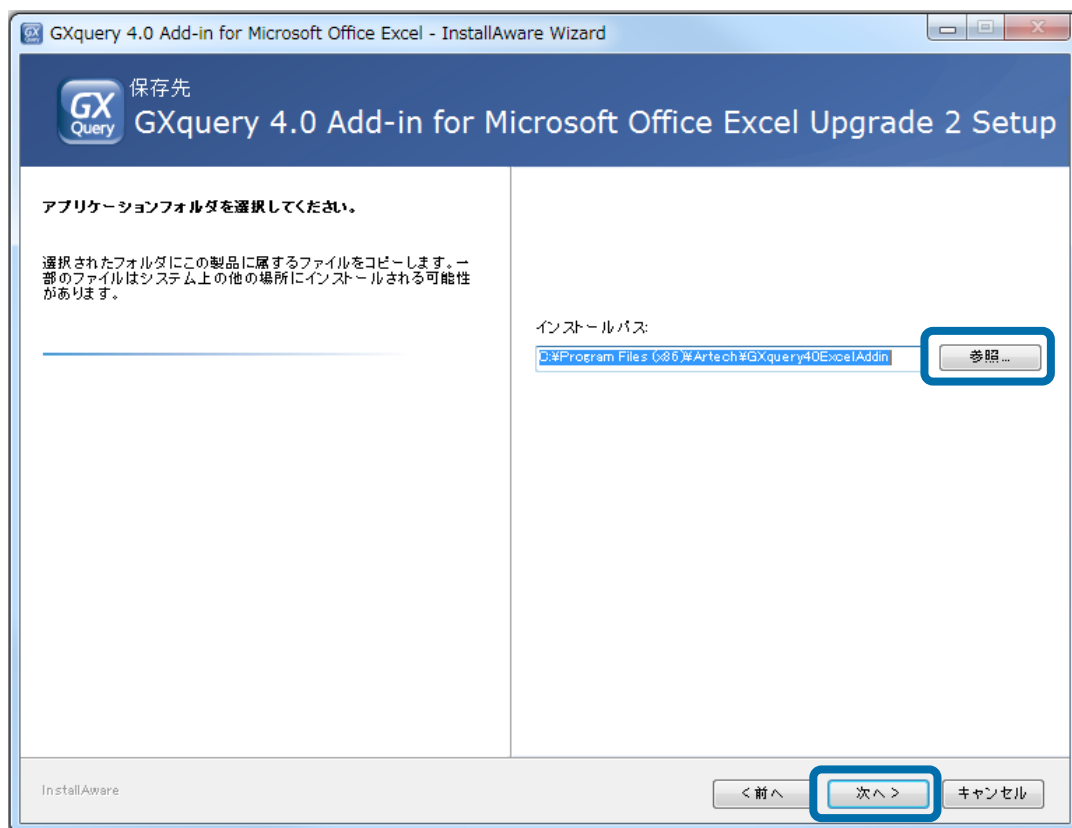
Add-in ツールをインストールすることにより、GXquery を使用して Excel でピボットテーブルやグラフを作成することができます。

1. GeneXus Japan の Web サイト (<http://www.genexus.com/downloads/products-jp?ja>) から「GXquery」をダウンロードします(前のセクションでダウンロード済みの場合はこの手順は不要です)。
2. 「MicrosoftExcel_Add-in」フォルダ内の「GXquery4.0ExcelAddin.exe」といった名前のセットアップファイルを起動します (Windows Vista、Windows 7 および 8 をお使いの場合は右クリックして「**管理者として実行**」を選択します)。

次のような画面が表示されます。

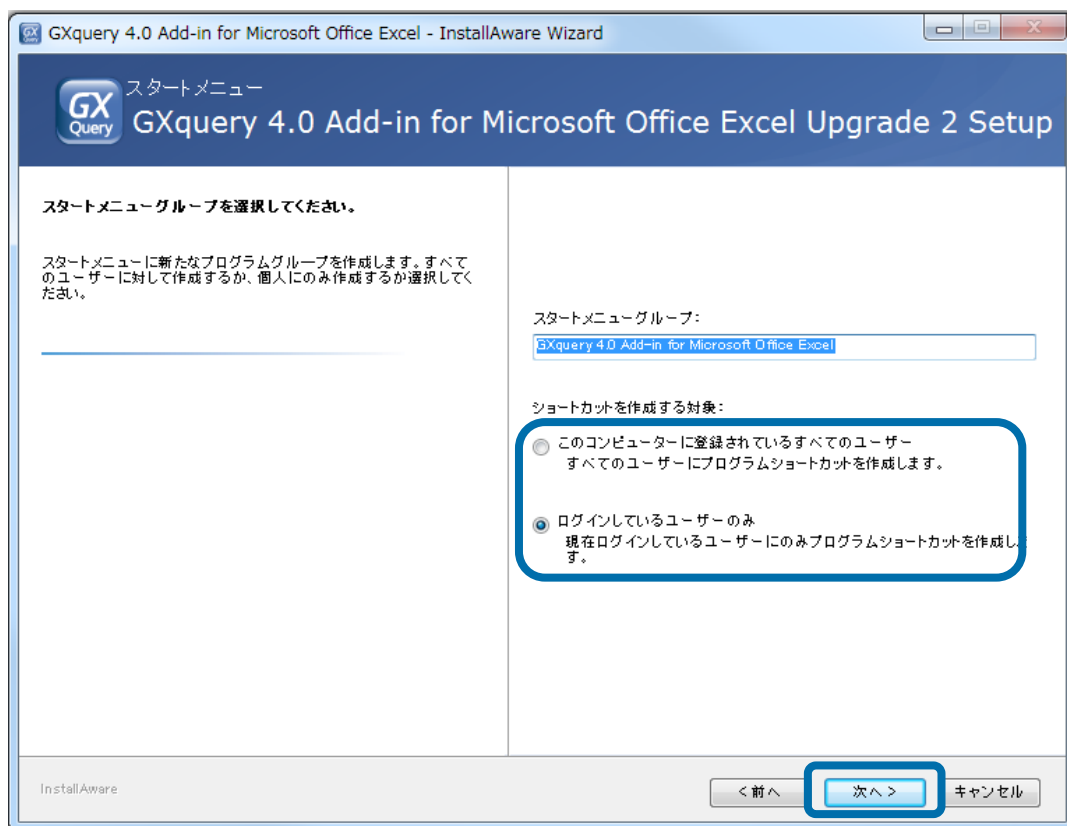


3. 「次へ」をクリックします。次のようなインストール先の選択画面が表示されます。



4. 「インストールパス」セクションにインストールパスを指定します。右側にある「参照」ボタンをクリックして、任意の場所を指定することができます。

5. 「次へ」をクリックします。次のようなスタートメニューへの登録画面が表示されます。



6. 「スタートメニューグループ」フィールドにアプリケーション名を指定します(既定では「GXquery 4.0Add-in for Microsoft Office Excel」と表示されています)。ショートカットを作成する対象として以下のいずれかのオプションを選択します。
- 「コンピューターに登録されているすべてのユーザー」：すべてのユーザーにプログラムショートカットを作成します。
 - 「ログインしているユーザーのみ」：現在ログインしているユーザーにのみプログラムショートカットを作成します。
7. 準備が完了したという内容の画面が表示されたら「次へ」をクリックします。インストールの進捗状況を示すプログレスバーが表示されます。
8. セットアップの完了画面が表示されたら、「完了」をクリックします。
9. Microsoft Excel を起動します。次のような「GXquery 4.0」のタブが追加されたことを確認できます。





GXquery SD のインストール

iOS や Android のスマートフォンやタブレットからメタデータにアクセスし、クエリを実行することができます。GXquery SD アプリケーションは App Store または Play ストアから無償でダウンロードすることができます。

iOS デバイスの場合

1. お使いのデバイスから「**App Store**」を起動します。
2. 検索フィールドに「**GXquery**」と入力し、タップします。
3. iPad と iPhone 用の「**GXquery**」が表示されます。
4. 任意のアプリケーションをインストールします。

Android デバイスの場合

1. お使いのデバイスから「**Play ストア**」を起動します。
2. 検索フィールドに「**GXquery**」と入力し、タップします。
3. 「**GXquery**」が表示されます。このアイコンをタップし、表示される画面で「**インストール**」をクリックします。

ライセンスのインストール

このセクションでは、GXquery のライセンスの請求および登録の方法について説明します

ライセンス請求

1. GXquery のプログラムグループから「**GXquery 4.0 License Manager**」を開きます。
2. GXquery のログイン画面が表示されます。上部に表示されている言語から「**日本語**」をクリックします。
3. 「**ユーザー**」フィールドに「administrator」と入力し、「**パスワード**」フィールドに「administrator123」と入力してから「**ログイン**」をクリックします。

次のような画面が表示されます。



4. 「**サイトコード**」フィールドに表示されている 5 つのグループに分割された 25 文字の数字を keysmaster@genexus.jp にメールで送信します。

重要 : 販売店から GXquery を購入されたお客様の場合、サイトコードを販売店宛に送信し、販売店からライセンスキーを受領してください。受領したライセンスキーを取り込む方法については、後述の「[ライセンス登録](#)」を参照してください。



ライセンスキーは、ライセンス請求ユーザーのメールアドレスに送信されます。

これで GXquery のライセンス請求は完了です。ライセンスキーを登録する方法については、後述の「[ライセンス登録](#)」を参照してください。

重要 : ライセンスの発行は Artech 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。ライセンスの請求は日程に余裕を持って行なってください。

ライセンス請求受付時間

土日祝日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

ライセンス登録

このセクションでは、keysmaster@genexus.jp または販売店から送信された GXquery のライセンスキーの登録方法について説明します。

1. GXquery のプログラムグループから「**GXquery 4.0 License Manager**」を開きます。
2. GXquery のログイン画面が表示されます。上部に表示されている言語から「**日本語**」をクリックします。
3. 「**ユーザー**」フィールドに「administrator」と入力し、「**パスワード**」フィールドに「administrator123」と入力してから「**ログイン**」をクリックします。

次のような画面が表示されます。

GeneXus™
GXquery™ English | Español | Português | Italiano | 日本語 | 简体中文 | 繁體中文

ライセンス ステータス GXquery Corporate 4.0 はこのサイトでは承認されていません。理由: 未承認。
ライセンスキーの請求

サイトコード
ライセンスキー

承認

GeneXus™
Built on GeneXus Technology

GXquery 4.0 U2 build 394 - All rights reserved. © Copyright 2001-2014 | Artech

4. ユーザー登録済みのメールアドレスに届いている keystmaster@genexus.jp または販売店からのメールを開き、「SiteKey:」に表示されているキーをすべて選択し、コピーします。

重要：必ずサイトキーの文字列すべてを選択してから、コピーするようにしてください。
その際、余計な改行コードや行末の空白を含まないようにしてください。

5. 「ライセンスキー」フィールドに手順 4 でコピーしたサイトキーを貼り付けます。
6. 「承認」ボタンをクリックします。

次の画面のようにライセンスが有効な状態であることと、残り日数が表示されます。



注意：有効なライセンスは1年分（365日）が364日から0日までのカウントダウン形式で表示されます。このため、「残り日数」が「0」の場合、その日も使用することができます。

これでライセンスの登録は完了です。

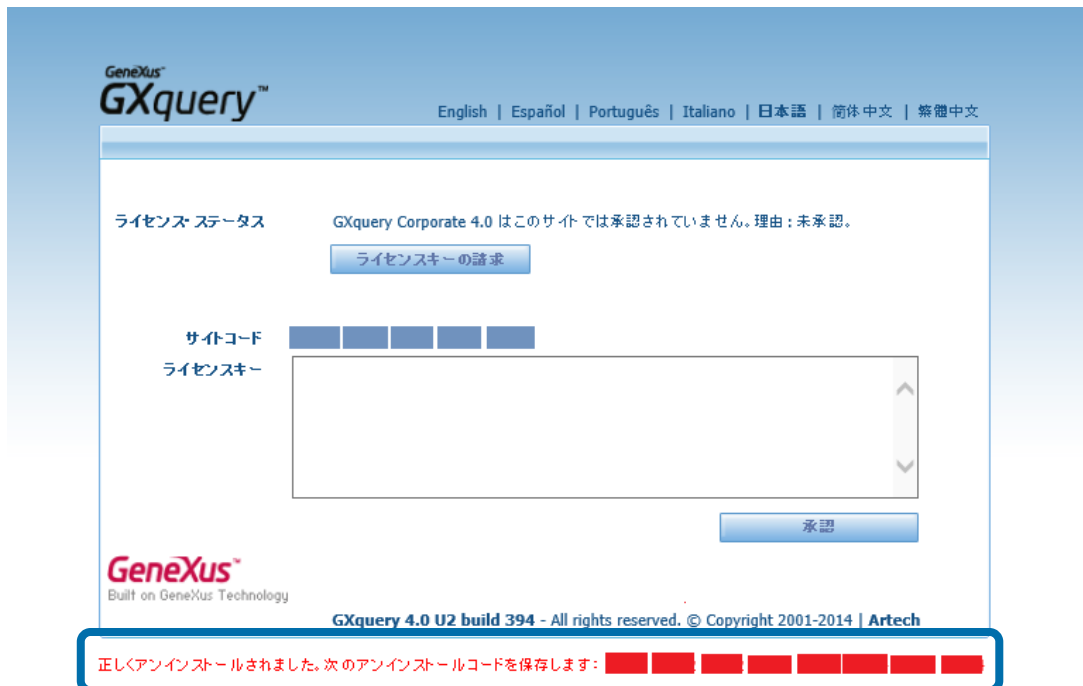
ライセンスのアンインストール

GXquery をインストールしている PC やサーバーの交換が必要な場合には、事前に交換前のマシンからライセンスをアンインストールし、販売店または弊社にライセンスの再発行を依頼する必要があります。ライセンス再発行の手順について詳しくは、後述の「[ライセンスの再発行について](#)」を参照してください。

1. GXquery のメインページを開きます。左側にある「スタートメニュー」から「ライセンス」を選択します。次の画面が表示されます。



2. 「アンインストール」をクリックします。次のような画面が表示されます。



アンインストールが正しく実行されたことを示すメッセージとともに、画面右下に 8 つのグループに分割された 40 文字の数字の「**アンインストールコード**」が表示されます。

3. ブラウザを閉じます。これでライセンスのアンインストールは完了です。

ライセンスの再発行が必要な場合は、後述の「[ライセンスの再発行について](#)」を参照してください。

重要：ライセンスをアンインストールすると、GXquery のインスタンス内（「GXquery40」という名前のフォルダ）に「**GXServer.gxa**」というアンインストールコードを格納したファイルが保存されます。ライセンスの再発行依頼時には、この「**GXServer.gxa**」ファイルと同じ場所に保存されている「**GxProt.log**」という名前のファイルを販売店または keysmaster@genexus.jp まで送信してください。

重要：一度ライセンスをアンインストールすると、サイトコードが新しく生成されるため、アンインストールする前に使用していたサイトキーは使用できなくなります。ライセンスをアンインストールする際には、十分に注意してください。

ライセンスの再発行について

このセクションでは、GXquery をインストールしているコンピューターの交換が必要な場合や、予期せぬトラブルで GXquery をインストールしているコンピューターが故障し、ライセンスの再発行が必要になった場合の手順について説明します。いずれの場合もエビデンスファイルを提出して頂く必要があります。

トラブルによっては、エビデンスファイルを提出できる場合と、ハードウェアの破損により、エビデンスファイルを提出できない場合があります。このセクションではそれぞれのケースに応じた手順を説明します。

また、交換の場合、交換する前のマシンにインストールされているライセンスをアンインストールしてから、ライセンスの再発行を依頼してください。詳しくは前述の「[ライセンスのアンインストール](#)」を参照してください。

エビデンスファイルを提出できる場合

次の手順に従ってエビデンスファイルを提出してください。

1. GXquery のプログラムグループから「**GXquery 4.0 License Manager**」を開きます。
2. GXquery のログイン画面が表示されます。上部に表示されている言語から「**日本語**」をクリックします。
3. 「**ユーザー**」および「**パスワード**」フィールドにユーザー名とパスワードを入力してから、「**ログイン**」をクリックします。
4. GXquery の画面が表示されます。画面左下の「**スタートメニュー**」>「**ライセンス**」と選択します。
5. 「**ライセンスステータス**」画面が表示されます。この画面のスクリーンショットを取得します。
6. 「**サイトコード**」フィールドに表示されている5つのグループに分割された25文字の数字をコピーします。
7. メールアプリケーションで新規メールを作成し、以下のファイルをご購入の販売店または keysmaster@genexus.jp に送信します。
 - 手順 6 でコピーしたサイトコード
 - 「**ライセンスステータス**」画面のスクリーンショット
 - 「**GXquery40**」フォルダ内の「**GxProt.log**」および「**GXServer.gxa**」ファイル

注意: GXquery を再インストールする場合、GXquery のインスタンスを上書きせずにインストールすると、

「GXquery401」、「GXquery402」といった名前のフォルダが作成されます。この場合、アクティブなインスタンス内の「GxProt.log」および「GXServer.gxa」ファイルを用意してください。

エビデンスファイルを提出できない場合

弊社に「ライセンス再発行依頼書」を請求し、必要事項を明記のうえ、社判を押印してから弊社に郵送してください。再発行依頼書の確認後に弊社より連絡を差し上げますので、別途ライセンスの請求手続きを行ってください。ライセンス請求については、前述の「[ライセンス請求](#)」を参照してください。なお、ライセンス喪失により「緊急ライセンス」の貸与が必要な場合は、上記「**ライセンス再発行依頼書**」の **PDFファイル**を添付し、お買い求めの販売店または弊社(keysmaster@genexus.jp)までメールでご依頼ください。

緊急ライセンスについて

GeneXus Japan ではトラブルによりライセンスを喪失されたお客さまのために「**緊急ライセンス**」を発行しています。これはライセンスが再発行されるまでの暫定的な処置として用意されている 15 日間限定のライセンスです。したがって緊急ライセンスを取り込んだ後に、ライセンスの再発行（新規ライセンス請求）が必要となります。この場合、緊急ライセンスの残り日数が「**2 営業日**」となる前までに緊急ライセンスをアンインストールし、新規にライセンス請求を行ってください。ライセンスのアンインストールおよび新規ライセンス請求については、それぞれ、前述の「[ライセンスのアンインストール](#)」、「[ライセンス請求](#)」を参照してください。